



2020正月 韓国旅行記

2020/01/01 ~ 04



発熱していたのに 2020 年なのに飛行機に乗って
海外旅行しちゃいました (ラノベかよ、と没にした本書タイトル案)



目次

[この本について](#)

[そうだ韓国、行こう。](#)

[ところで韓国という国について](#)

[準備](#)

2020年1月1日（水）

[出発](#)

2020年1月2日（木）

[仁川空港に到着](#)

[ソウル駅で地下鉄に乗り換え](#)

[明洞で朝食](#)

[ホテルへ](#)

[明洞餃子](#)

[アニメイトへ](#)

[チェックインして、寝る](#)

[オッパダのクリスピーチキン](#)

[夜の明洞で買い物](#)

2020年1月3日（金）

2 [ホステル朝食](#) 14

3 [土産を購入](#) 14

3 [新論岬で焼肉ランチ](#) 15

[マジックのお店へ](#) 16

[明洞でビビンバ](#) 17

5 [明日の北朝鮮ツアーが土壇場でキャンセル](#) 18

2020年1月4日（土）

6 [朝の鶏粥](#) 19

6 [あわやツアーに参加し損ねる](#) 19

7 [臨津閣](#) 20

8 [烏頭山統一展望台](#) 21

9 [戦争博物館](#) 22

9 [充実の屋外展示](#) 22

11 [江南で昼飯](#) 23

12 [帰国モードに入る](#) 24

13 [空港へ](#) 24

[空港の夕食](#) 25

[搭乗](#) 26

2020年1月5日（日）

[お家に帰るまでが旅行です](#) 27

この本について

本書は2020年1月にソウルに遊びに行った筆者が見聞きしたことや思ったことなどをつれづれなるままに記したものです。特にそれほど目新しい内容はないとも思いますが、お楽しみいただければ執筆した身として幸いです。

本書での通貨表記はウォンで行います。当時のレートは0.09円くらいだったようですが、要するにいつものように、感覚的にはゼロをひとつ取ればだいたい良いでしょうね。

そうだ韓国、行こう。

もとより筆者はかつてトレーディング・カードゲーム「マジック・ザ・ギャザリング」の海外の大会に参加したことでその楽しさにはまり、以降ずっとアジア圏を中心に海外の大会に参加することを軸に年間のスケジュールを立ててきました。有休はほとんど全部それに投入する勢いで。そしてこれはやがて「大会参加」よりも「海外旅行」自体の楽しさに目覚めてもきたのですが、一方で有休に余裕がないこともあって「大会に参加しない」国については、なかなか観光だけを目的に遊びに行くのは難しかったのです。そして韓国も「大会が開催されない」国であるため、これまではなかなか足を向けられなかったのです（これは賭博禁止が絡んでいるようです）。しかし逆に言えば「有休を消費しない」場合に、行かない理由はあまりありません（旅費はまあ、なんとでもなるでしょう）。

その一方で実は2020年からは諸般の事情でマジック・ザ・ギャザリングの海外大会があまり開かれなくなり、おまけにその数少ない大会もコロナウイルス騒動で開かれなくなって海外に行ける機会が激減するのですが、それはまたいずれ別の旅行本で語れることでもあるでしょう。

そしてMFバンコク2019（バンコクの大会）の準備をしている2019年10月3日に、弊社の「年末年始休暇」の予定が発表され、正月休みは12/28（土）～1/5（日）であることが判明。年内はご存知のようにコミック・マーケットなわけですが、その反面、正月は1日も有休を消費しなくても5日間の旅行をすることも不可能ではないことに気がつきました。

もちろん年末年始というのは海外旅行の航空料金というのは跳ね上がるのが常ですが、あるいは

韓国は不人気なので（笑）案外安いのではないかと思います。あと2か月しかないのにピーチ（※1）の便が往復35000円で買えました。これは、ありだなと思ってぼちります。なお韓国に遊びに行くのは2018年10月に続いて2度目（これは同人誌にしませんでした）。

※1 <https://www.flypeach.com/>

ところで韓国という国について

みなさまご存知のように韓国というのは日本の隣国であり、歴史的あるいは現在も色々と複雑な問題が存在します。これについて述べることは本書の主旨ではありませんが、一応述べておくと筆者は韓国には特段の悪感情を抱いていない、あるいは抱かないようにしようというのが基本の姿勢です。要するに韓国ヘイトはしませんし韓国ヘイトは容認しません。韓国旅行を決めたのも基本**美味しいもの**を食べに行きたいだけですし、本書で述べるように北朝鮮との国境に行こうとしているのも単に**面白がって**いるだけであり特段の政治的意図も別になかったです。上で「韓国は不人気」とか書いているのは単なる皮肉です（こういう解説をするのも野暮ですが…）。

要するに何が言いたいかということですね、韓国ヘイトをむき出しにする日本の方々（常に蔑視や差別用語を使ったり）は残念ながら我が国ではそれほど珍しくなく、あるいは皆さまの回りにも普通に何人か思い出すかもしれませんし、あるいは皆さま自身がそうであるかもしれませんが、これは僕のこの本の読者ではないということです。本書は単なる旅行を楽しむ「旅行本」です。

もしもこの本を現在お手に取っている方が、そのような韓国へのヘイトを隠さない方であれば、本書にはあなたの望む記述はありませんので、本書を読むのを止めるべきかと思います。

準備

ピーチ航空の便は、極力安いのを狙ったこともあり、出発は1月2日の1:45の羽田発、帰国は1月4日の22:40に仁川（インチョン）発の便にしました。従って韓国滞在は2泊3日ですが、実質は2泊5日のようなものですね。

ともあれ今回も明洞（ミョンドン）の安宿にしようと思って今度は明洞ホステル（※1）を予約。あとは基本は美味しい飯を食う予定くらいしか入れていなかったのも、ネットで旅行サイトなどを調べてソウル市内の評判の良い飯屋をチェックしたりをやっていたのですが、ふと「ソウルから半日韓国 DMZ ツアー」というのが目に入りました（※2）。

DMZ = DeMilitarized Zone（非武装地帯）。韓国の場合には北朝鮮との国境沿いに作られた南北の約 2km の幅を持つエリアで、武器の類は持ち込めないものの双方の兵士が駐在しており、民間人も許可を貰ってギリギリ国境まで近寄れます。

今回の旅行では別に北朝鮮のことなどは意識してもしなかったのですが、こういうあまり普通の観光客の行かないような所は**ネタとして**良いかもしれないな…半日で 5 千円か…他に特段に行きたい所があるわけでもないしありだな、と思ってぼちりました。

このへんをツイッターでつぶやいたら阿部さん（※3）から「そこに行くなら映画『JSA』を観ておくといいです」とか言われたので、当時 Amazon プライム加入中で無料視聴可（※4）だったため観ました。冒頭の観光客が国境をぞろぞろ歩いて、風で帽子が北朝鮮側に飛んだのを返して貰うあたりのシーンで「なるほど。ここを歩けるのかな？」とか思いながら観ていたものです。映画は面白かったです。そんなこんなで歳も暮れコミックマーケット最終日も終わって大晦日、明日は韓国旅行のスタートということになりました。

※1 <https://www.booking.com/hotel/kr/philstay-myeongdong-station-seoul.ja.html?aid=304142>

※2 https://www.tripadvisor.jp/AttractionProductReview-g294197-d11989360-Half_Day_Korean_DMZ_Tour_from_Seoul-Seoul.html

※3 <https://twitter.com/abee2>

※4 <https://www.amazon.co.jp/dp/B0787LFGLD>



映画「J S A」での国境を歩くツアー観光客。あるいはこれと同じ光景が見られたのかな…。

2020年1月1日（水） 出発

コミックマーケットと大晦日から明けた新年。
コミケの疲れが出たのか、少しだけ熱っぽい。
とはいえ予定を中止して寝ているほどではない
ので、普通に起きて活動開始。

11時に女房と家を出て亀有の香取神社で初詣
にし、アリオ亀有で昼食のち映画「この世界の
さらにいくつもの片隅に」を鑑賞（よかった。
あと自分の名前もクレジットで確認）。

帰宅して夕食・風呂ののち20時にゆるゆると
PCを落として荷物に入れて、支度を始める。
まだ余裕なんですが、ネットをやっているだけ

なら家で時間を潰しても、羽田空港で時間を潰しても大差ありません。20時半には家を出て、
21時に青砥。ほどなく京急に乗車し、22時過ぎには羽田空港国際線ターミナルに到着。
ピーチのカウンターが空くまで1時間ほどあったので時間を潰して23時過ぎにはカウンターに
並び、30分後には発券を終えて23時40分過ぎにはセキュリティとイミグレを通過。



カードラウンジで1時間ほど時間を潰したものの、成田空港と違い羽田空港ラウンジには無料の
柿ピーがないことを知る。食事の代わりなどにはならないけど、ちょっと残念。もっとも、
フリースタックと柔らかい椅子と電源があれば、とりあえずノートPCで時間を潰すにはよし。



1時を回ったのでラウンジを出て145番ゲート前へと
移動するも、35分の遅延が発生していた。ゲート前で
座って1時間ほど眠気をこらえつつ待ち、2時10分に
搭乗が開始され、自分はその10分後に搭乗してから、
座るなりスマホの電源も切って、そのまま爆睡。
起きたら韓国です。

2020年1月2日（木） 仁川空港に到着

5時30分仁川空港に到着。ゆるゆると手続きを行って6時20分に入国。売店でSIMカードを27500ウォンで購入。SIMフリースマホに突っ込んで、しばらく待ったら勝手に認識して接続されました。品質なども、何も問題ないようです。

7時過ぎにソウル市内へのA'REX（エクスプレス）乗り場で乗車券を9000ウォンで購入。実はピーチ航空ではこの「A'REXの料金が7300ウォンに割引」になる機内販売というのを提供していたので「いいじゃん」と思いつつCAに方法を聞いたら「確かにそのサービスはあるんですが、A'REXの窓口でチケットと交換する必要があり窓口が開くのは**9時から**」と言われたのでぎゃふんな気持ちで見送り。170円を浮かせるために2時間待つ気はないのです。

ソウル駅で地下鉄に乗り換え

7時27分エクスプレス発車。おなかすいたー。早く朝食にしたい。
8時13分、ソウル駅に到着。ここから地下鉄4号線に乗り換えて明洞まで2駅。ソウル駅でのエクスプレス駅から地下鉄駅までは実はけっこう歩くのですが、床のわかりやすい表示のため迷う心配はおよそありません。いいですね。

※いまは日本の駅でも割と見られるようになりました。

駅での行先表示は日本語のカタカナつきがデフォルト。日本でも駅やバス等の行先案内でハングルで表示されていると「日本人が



読めない」というクレームを入れる方がたまにいますけど（いや僕もハングルまったく読めないので、読めないよというのは理解しますが）、
「地元民じゃなくて観光客の

ためのもの」ということを考えればこれは普通に「ありがたい」としか言えません。中国語簡体字もよく分からないし。ちなみにコレ僕ら日本人にも馴染みのある繁体字だと「首爾駅」と書いてあるわけですが…ごめんいずれにせよ読み方はやっぱり分かりません（笑）。まあ自分は英語は読めますので日本語がなくても何とかかなるとはいえ。

たまに「案内板は現地語と英語だけあれて良い。どちらも分からないなら観光に来るな」とかいう暴論を吐く日本人もいるんですが、さすがにいいほどの英語偏重ぶりというか…基本的に観光客に「来てもらう」ためのものだというのはおいておいても、それって現地の方に英語で話しかければ必ず通じるものだとでも思っているのかな？と思わざるを得ないのでした。僕は中国はもちろん台湾ですらありましたよ英語もできない人に道を聞いたりしたこと。特に中国ではネットが使えず地図ソフトや翻訳ソフトも使えなかったのでマジ死を覚悟しました（笑）。

明洞で朝食

そんなことを考えつつ8時40分には明洞駅に到着。1年前の韓国旅行での余りが10万ウォンはあったのでここまでは来れたものの、滞在中のお小遣いとしては足りないのでATMで現金を確保することにしました。そこで駅のATMを探してクレジットカードで現金をゲット…したのですがここで大失敗。うっかり5万円くらいおろすつもりで5万ウォンを入力してしまいました（涙）。もちろん足りませんので再度の手続き。ちなみに手数料は一律3600ウォンでした。とほほー。



気を取り直して10番改札から出ます。ともあれ、猛烈に空腹なのでホテルの前に朝食にしましょう。ということで朝の明洞の繁華街を歩き以前も入ったことのある2階の粥屋に入店。もちろん営業していました。メニューを見つつ地鶏粥 10000ウォンを注文。ものの2～3分で出てきました。まあ、大鍋から



よそって盛り付けるだけですしね。では、いただきます。韓国料理のデフォルトとして、色々と具材が山盛りの皿がついてきます。以前は貧乏性として、出されたものは全部入れて食べたりしたのですが（笑）、さすがにそれはもうやらずに、自分好みの奴だけを適当に粥に放り込みます。具体的には、もやしと卵焼きを全部、魚と海藻少々、あとキムチ類はひとつまみ単品で食べ、粥には放り込まず。まぜまぜして食べます。うん、しみじみ美味しい。正直、これで1000円はあまり安いとは思わないのですが、よそならば500円で食べられるわけでもなく、けちっても仕方

ありません。ごちそうさまでした。温まりました。朝の薬も忘れずに飲みます。

ホテルへ

9時過ぎに朝食を終えて飯屋を出ます。では宿を探しましょう。まずは荷物を預けて身軽になることにします。

そしてほどなく明洞ホステルを発見。ここですね。このビルの上のほうがフロアで、エレベーターで昇ってカウンターへ。

普通に照会してカウンターに旅行鞆を預ける。

チェックインは15時以降。さてそれまでどうしましょうか。現在ノープラン。



朝飯を食べたばかりでもあるし、コンディションは風邪でイマイチであるので遠出する気も起こらず、

いま朝飯を食ったばかり。となるとやはりこれは「マッサージ」しかないかなと思い、決行。

ぶらぶらと明洞の繁華街を歩き、ここにするかと思った店に入店。全身1時間37000ウォン。

決して安さを感じない値段ではありますが、まあ、仕方ない。普通に気持ちいいので許す。

他には特に書くべきことはありません。身体をばきばきほぐしました。

明洞餃子

マッサージをゆるゆると終わると、そろそろ昼。お腹に入りそうになってきたので、昼食はここと出国前にネットなどで調べて評判の良かった飯屋「明洞餃子」へ。下調べ情報とグーグルマップをもとに繁華街を探し、ほどなく発見し入店。

店内は結構な混雑ぶりでしたが、幸いにして待たされずに奥の席に座ってメニューを受け取る。

とりあえずレビューでおススメであった「カルクックス」（うどん）が値段も手ごろな 9000ウォンであったので注文し、少し待つ。



少し待って到着。いただきまーす。

うん、何も文句のない味ですね。普通に美味しいです。コスパも文句なし。

餃子の店なのにお勧めが「うどん」ってどういうことかな…とも最初は思ったんだけど水餃子は普通に6個も入ってます。満足して正午過ぎに店を出ます。

アニメイトへ

海外に行ったらまだ行っていないフーターズとアニメイトに行く、というのは僕がつとめて実践していることでもあるのです。どうもソウルのフーターズは潰れちゃったみたいなんですけど、アニメイトは健在。というわけでソウルのアニメイトに行くべく明洞の地下に降りて地下鉄へ。ソウル駅で1号線に乗り換えて龍山（ヨンサン）へ。

当然ながら切り替え式の電光掲示板でもカタカナ表示であるのを眺めたりしているうち、龍山駅に到着しました。

広い龍山駅を、地図を見ながらアニメイトのあるビルを探します。I'Park MALL（アイパークモール）という駅チカのモール（※1）の6階にあるらしいのですが…と思いつつ探すと、やがて目的のモール前に。駅ビルの構造上、いま自分が何階にいるのが分かりにくかったものの、外に面した場所に大きめの書店を発見。アニメイトではなさそうですが、覗いてみます。



※1 <https://www.seoulnavi.com/miru/208/>



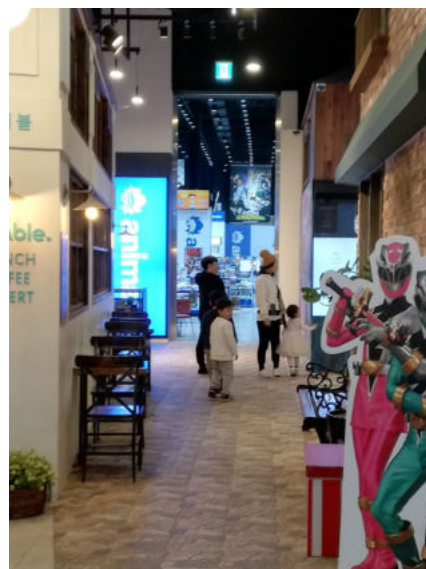
なかなか大きい書店で、ジャンプ・コミックス単行本の韓国語版なども普通に並んでいます。店内のあちこちで謎の**赤毛のアン**推しをやっていたのがよく分かりませんでした…。

ともあれ、ただの書店でもこうならば、アニメイトではさぞ…と期待に胸がふくらみます。

さらにエスカレーターで6階へ。ここは模型やゲームのホビーフロアらしく、

ガンダムショップやTVゲーム、タミヤのショップに「魂ネイション」など多数。しばし足を止めたくになりますが、今日来た目的はこれらではありません。アニメイトはどこだ。

しかしそれから30分ほどどうろうろするも、アニメイトは発見できません。この時は、このモールがいくつもビルが連結した構造とは知らなかったためでもあります。しばらく行ったり来たりしてから、アーケードゲームのフロアへのトンネル様の連絡通路らしい所を通過すると、遠めに見覚えのあるロゴが！





いそいそと入店したら、どうもグッズとTCGがほとんどで、**遊戯王が人気だね**という感想しか抱けずに。マジック・ザ・ギャザリングでもあればもう少し違うんですが（笑）。一応コミックスも置いてあったのですが本棚2つくらいでした。うーん…。

じぶんへの土産に韓国ローカライズの日本の漫画でも買おうと思ったのですが、明らかに最初の書店のほうが品揃えが豊富であったので、駅に戻りがてらに寄ることにして、アニメイトを出てフロアを降ります。

最初の書店に戻ってしばらく物色したのち「魔法使いの印刷所」の韓国版を購入。これはなかなかよいですね。



チェックインして、寝る

14時を回りました。この頃には風邪の症状は幸いにしてほぼ治まったものの、**猛烈に眠く**なってきました。まあ、飛行機の中で3時間しか寝ていないわけなので道理ですね。

無理をしてまで行きたい所があるわけでもなかったもので、これはホテルに戻って寝るのが正解と



いう結論になりました。チェックインは15時からですが、ゆるゆる戻ればいいし明洞で買い物していてもよし。

ということで地下鉄で明洞まで戻り、その頃には15時を回っていたのでチェックインして預けた荷物を受け取り、自分の部屋へ（フロントから1階上の部屋でした）。

部屋の真ん中を**無意味に柱がぶち抜いている**のが安宿クオリティですが、部屋自体はそこそこ広めで、特に寝るだけの場所として文句もないですね。ともあれ荷物を放り出して、ベッドに横になるなり爆睡。ぐう。

オッパダのクリスピーチキン

ぐっすり寝て、目が覚めると 19 時 40 分でした。

よし。では夕食にしましょう。

夕食は事前に調べておいた評判の良い鶏肉料理チェーン店
オッパダ (OPPA DAK) と決めていました (※1) ので、
さっそくホテルを出てオッパダ明洞店にマップを見ながら
移動。20 時過ぎに目的の店を発見し、入店します。



※1 https://www.konest.com/contents/gourmet_mise_detail.html?id=10413



明日の予定など考えるうちに、チキンの
大皿が来ました。ずどーん！

やはりの量に圧倒され食べきれのかなと
思いつつ、つまみはじめます。うまい。
味は文句なくうまいんだけど、問題は量
なんだよな…と思いつつ口に運びます。
確か 6 ピースと書いてあったと思ったの
だが、と思いつつもぐもぐと。

そのまま 30 分ほど格闘するも、完食する前に「うっぱ」ラインがきたので残念ながらギブアップ。
小ぶりのものを含めて 10 ピースほどは食べたと思うんだけど、まだ数ピースあるよ…。

食事中、隣にいた**不倫カップルっぽい**日本人の中年男女と話が合ったので「僕は食べきれ
ませんでしたので良かったらこれ、どうぞ」と残りのバスケットを渡して退店。あのカップルが
それを食べたかどうかは知りません。

お代はコーラ込みで 19400 ウォン。2 千円でこれなら全然 O K なんですが、2 人でビールとでも
一緒につまめば文句なく満足できる店だと思いました。

夜の明洞で買い物

食事を終わると 21 時。夜の屋台街は常に楽し気です。さすがに食べ物の屋台は今夜はもう喉を通りません。その点はいささか残念。

スーパーで寝床でつまむためのお菓子を買って部屋に戻ります（腹いっぱいだったのでは…?）。

部屋に戻ってシャワーを浴びてだらだらしていると、22 時半を過ぎる頃にふたたび睡魔が襲ってきたので、とくに抗わず寝ることにしました。



その前に買ったお菓子を開封します。

韓国土産の定番にハニーマスタードのアーモンドというのがあるのですが、その 5 色アソート版。チョコ・コーヒー・ハニーマスタード・わさび・カラシ味。味の想像ができていなかったのも、わさび味アーモンドというのを開封してつまんでみると、これが辛すぎもせず、なかなかのもの。会社土産は定番のハニーマスタードでなくコレにしようかなと思いつつ、ぽりぽり。これは自分土産としてもいくつか購入していこうかなと思いました。23 時就寝。ぐう。



2020年1月3日（金） ホステル朝食

さすがに6時前に目が覚めてしまう。本日は基本、ノーブランチ。宿の無料朝食は7時からだから、ちょっと時間を潰すことにしよう。観光ガイドをばらばら。ついでに買った「魔法使いの印刷所」もばらばら。ハングルもさんカワハラーさん。



7時になったのでフロントに降りて無料飯コーナーへ。クロワッサン、卵、オレンジジュース、シリアル、スープ、ソーセージ、点心、ヤクルト。うん、無料なら、必要な水準は満たしていると思う。貧乏飯バックパッカーなら、ありじゃないだろうか。

ただし、今回の俺は**美味しいものを食う**ために韓国に来ているのであるからコレで

腹を満たすのはいささかもったいないという結論になる。明日からはやはり朝食は千円粥だな。あと、これもホステルとしてはアリなのですが、食器は自分で洗うというルールでした。貧乏飯旅行ならここは悪くない宿だと思いました。今回の自分はパスするにしても。とはいうものの、一泊六千円だとそれほどお値頃感はないかなあ。明洞の一等地ではあるんだけど。

土産を購入

まだ店も開いてないので、結局のところ部屋に戻ってそのままごろごろする。わざわざ旅に出て贅沢な時間の使い方だが、寒い中を出歩いても仕方がない。

とはいえ昼飯の都合もあるので、10時過ぎにゆるゆると支度をして宿を出る。

まずは女房から頼まれていた土産購入ミッションをクリアすることから。

女房からは Etude House（※1）のアイシャドーを買ってこいという指令が出たので、明洞店に

入り、写真を送って指定のものをゲット。時差がないとこういう時はありがたいね。任務完了。

さらに会社土産と自分土産のわさびアーモンドを買ったので、いったん宿に戻って買ったものを部屋に置く。

さらに宿の屋上に出てみて周囲の写真を撮るが、ビル街のど真ん中で周囲はビルばかりなので、どうでもいい写真しか撮れず。

※1 <https://www.etudehouse.com/jp/ja/>



新論峴で焼肉ランチ

それほど行きたい所もないので新論峴（シンニョンヒョン）に行ってみることにする。前に韓国を訪れた際にフーターズはなぜか営業しておらず現在は潰れたこともほぼ確定で情報として入っていたのですが、まあ、歓楽街である江南エリアで昼食にするのも良いでしょう。



地下鉄へ。韓国は比較的日本語で案内がよく流れる国ではあるものの、やっぱりホームの表示はこういうのもあるので、ハングルができなければ英語名も知っておいたほうが良い感じではあるのです。シンニョンヒョンはSinbanpo。シンバンポーと覚えても会話で使えないし他の役にも立たないのですが。

とか考えているうちに乗り換えて新論峴に到着。フーターズ跡地を確認してから昼飯にしよう。

駅を出て、記憶とネット地図から「確かにここの地下にこないだはフーターズの電源の消えた看板があったんだが…」というスポットにたどりつくも、さすがにもう跡形もなかったですね。ではお昼ごはんにしましょう。ビビンバか焼肉かなー。

江南エリアのほうに坂を下りていって、てきとーな焼肉屋に入る。店の上にアダルトショップがあったけど空腹だったのでスルー、まあ、後で寄ってみるか…。

肉 150g のランチを注文して待つ。わくわく。

まあまあ美味しゅうございました。

21400 ウォン。韓国で焼肉を食う実績を解除。

しかしたぶん、探せば他にもっと安くていい店はあるのだろうけど、仕方ない。

エロショップのために時間を潰すこともないし、また坂を登るのも面倒だったので、このまま坂を降り江南（※）を覗くことにしましょう。男子の劣情を刺激するものはきっとそこに！

※風俗エリア



マジックのお店へ

坂を降りていく途中でココイチを発見したりしながら江南に到着。江南は韓国での風俗エリアであるらしいので、男子の劣情を刺激するお姉ちゃんやそれらしい店はないものかと小一時間ほどぶらぶらするも、さっぱり見当たらない。むう。今日の俺はサーチスキルが不足している模様。

あるいは真っ昼間だからなのか正月だからなのか寒いからなのか（**その全部**なのではないか）、ともあれ何も収穫もなく江南を去ることにします。

本日の予定は、漢城大入口にあるというマジックショップで FNM ドラフトをやるくらいしかないものの江南に居ても仕方がないので移動することにしましょう。まだ 15 時ですが、時間が余れば足マッサージでも受ければいいかなあ。営業していれば。

地下鉄に 1 時間弱乗り、漢城大入口駅に到着。では、まずはショップの位置を確認しよう。

日本であらかじめ調べておいた店舗の住所とグーグル先生を頼りに、しばらく歩いて目的地「Red Dice」のあるビルに到着。よし。

さっそくエレベーターで 2 階に上って入店。ボードゲームが多いがマジックのパックがあり、デュエルができるテーブルもある。よしよし。

にこにこしながら店員に「今夜の FNM ドラフトは、



何時からですが」と尋ねると**やってません**という返事。
えー。「店舗・イベント検索」では開催予定に入ってたじゃないですか…電話であらかじめ聞いておくべきだったのだろうかなあ。正月だし。
失意のあまりその足で店を出るが、手ぶらで帰るのもと思い直して再度入店し、最新セットの「エルドレインの王権」の韓国語版を3パック購入します。1パック4000ウォン。
店内で開封する。とくにたいしたレアは出ませんでした。



明洞でビビンバ

マジックのお店を出ると16時半。地下鉄で明洞に戻ると17時を回りました。どうやらもう、マッサージを受けて夕食くらいしかやることがないのんびりした韓国の正月です。

適当なマッサージの店に入って1時間揉んでもらってから（特筆することはないです）、以前に来たときに良かった韓国料理の店「牛里」に入り、ビビンバを注文。

少し待って到着。小皿数枚のトッピングを適当に、好みのものをつまんで放り込んで、あとはひたすら2本のスプーンでまぜまぜ、まぜまぜ、まぜまぜ、まぜまぜ、まぜまぜ、まぜまぜ。

そろそろ良いだろうかという頃合いで、スプーンと鉄箸で口に運ぶ。**ンマーイ！**

韓国に来て良かったと心から思える瞬間。



明日の北朝鮮ツアーが土壇場でキャンセル

夕食を終えて、軽く繁華街をぶらついてからホテルに戻り、シャワーを浴びると 20 時半。
明日の夜には韓国を発つので、そろそろ荷造りとチェックアウトの準備をして、寝ようかな。
そういえば寝る前に明日の DMZ に入る北朝鮮ウォッチツアーの予定を確認しておかねば…と
思ってメールボックスを開いたら、ツアー会社からメールが来ていた。

It's tomorrow your tour day for DMZ tour on Jan. 4, but we are afraid that we have to inform this.

As DMZ has been closed by Korean government, DMZ tour is not able to be proceeding for a while. (it can be continued until the end of Feb. 2020)

So, we have to proceed the Alternative tour before re-open date.

「韓国政府が DMZ を閉鎖したので DMZ ツアーは 2 月末まで決行できません。つきましては。」

ええええええ。このために韓国まで来たのに！（誇張）。みんな**トランプのせい**だ。

この 1 月 3 日に米トランプ大統領が、イラン革命防衛隊のソレイマニ司令官を命令して殺害したため「これは戦争になるのだろうか」という緊張感が一気に世界中に走ったのですね。おそらく今は**そんなことがあったことすら忘れていた**方も多いと思うのですが。

ええー、とは思ったもののどうにもならないしキャンセルしても他の予定を入れられるものでもないで、ツアー会社が提示してきた「代替プラン」に乗ることにする。

DMZ には入れないものの、ギリギリ北朝鮮の国境まで行く展望台に行くとか、そんな感じ。

応諾をしてやりとりをし、明日の朝 7:50 に明洞駅 5 番出口で黒いバンでピーターさんがピックアップしに来ることを確認。

ツアーに参加する前にチェックアウトをする必要もあるので、軽く荷造りをして 22 時には就寝。

2020年1月4日（土） 朝の鶏粥

5時過ぎには目が覚める。

ツアーのピックアップは7:50 だから7時にチェックアウトして朝食で良からう。

寢床でグラブルをやりながら1時間くらいだらだらとしたのちに、6時に起きて服を着て荷造り開始。とはいえ鞆に詰めるだけだ。

7時前にチェックアウトして、荷物をフロントに預けて外に出る。まだ真っ暗。

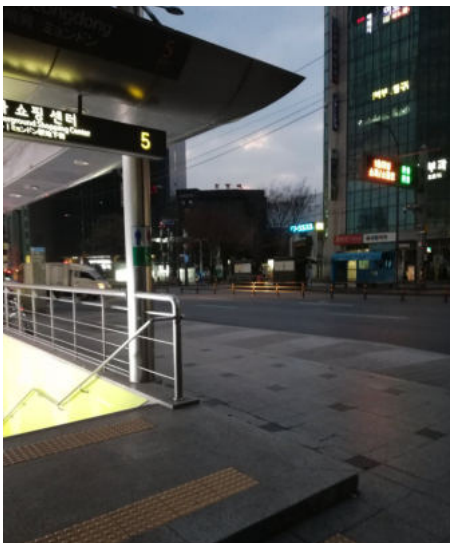
外はまだ真っ暗で、朝粥を出している多くの店が開店していないのは計算外だったのだが、初日に来た店は開いていたので、入店して同じ鶏粥を注文。

同じものを頼むのも芸がないんだけど、野菜粥 8000 ウォンで鶏粥が 10000 ウォン、その上はアワビ粥 15000 ウォンとか言われちゃうとねー。鶏肉は好きだし。

おいしく頂いて終了。朝の薬を飲む。



あわやツアーに参加し損ねる



7時半に食事を終えて、ほどなく明洞駅5番出口に到着。

あとはここに15分後に拾いに来る筈のピーターさんの運転する黒いバンに乗れば、万事OK。道路から少し離れつつ、しばし寒い中を待つ。

7時50分、自分の前に黒いタクシーが止まって声をかけてきたので「ピーター？」と聞いたら「Yes」と答えてきたので、

メールに書いてあるナンバーと違うなあと思い

つつも乗車して助手席に座って話をする。ツアーとか DMZ とかこちらが言うのに YesYes とか言ってきたものの途中で「いかん、こいつは単に**話を合わせているだけ**のタクシーだ」と気がついたのです。すでに車は動き始めていたものの慌てて「NO! STOP!」と言って車を停めて貰って飛び出して一目散にさっきの所に戻ると、果たしてメールに書いてあった黒いナンバーのバンが停まっていた。あぶなかったあ。

そもそも「バン」と書いてあるのに「タクシー」が来た時点で普通は気がつくだろ。

臨津閣

8時5分、マヌケ1人を含めてツアー全員（6名だったかな）の乗車を確認して、バンは出発。

1時間ほど漢江沿いに北上してから、9時過ぎに臨津閣（イムジンガク）に到着しました。



まずはガイドの案内に従いつつ、ぶらぶら進む。

チケットを貰って、北朝鮮側まで続いている線路のある橋（自由の橋というらしい）を行ける所まで進みます。途中でいろいろと案内もあり。

いちおうこのへん一帯は写真撮影は禁止という建前ではあるものの、みんな手にしたスマホでおずおず写真を撮っている。ガイドさんが「あなた方はいま銃口を向けられて監視されていまーす」と冗談（？）を言います。



線路のそばに少女像。

軍事境界線そばで平和を願うところ。

願いが書かれた短冊をたくさん吊っている場所もありました。

自由時間になったので売店に入ってガーリックトーストを購入してもぐもぐ。空腹はさておき、ちょっと寒いのでした。

うん、おいしいです。

この建物の屋上から北朝鮮がよく見えます（そもそもここは展望台でもあるのでした）。ではそろそろ次のポイントです。



烏頭山統一展望台

来た道を車で逆走して 10 分ほどで次の烏頭山（オドゥサン）統一展望台に到着しました。

時計は 10 時半。基本的には、一番上まで登って望遠鏡を覗くだけの施設です。

快晴であれば北朝鮮がよく見えるといった触れ込みなのですが、今日は少し霧が出ていてそこまでクリアではなかったのが残念。

それでも望遠鏡（無料）を覗き壁の地図と見比べて「あれが〇〇〇」「兵士が歩いているのが見えますね」とか 30 分くらい遊びました。

もちろん記念撮影もしました。

お土産を買って終了。



戦争博物館

来た道を車でゆるゆる市内に戻ります。時間的には、次でラストかな？

正午に市内に戻り、戦争博物館へ。

ここからは1時間の自由行動。いちおうホテル最寄り駅までの送迎はつくものの、もうソウルのど真ん中なので、あとは勝手にすればいい感じもある。

戦争博物館では、秀吉の侵略のことをガイドが話してます。

その他、メッセージ性の強い日本軍や朝鮮戦争の色々。

直視はできるもののあまり積極的に話題にしたい題材でもないで、特にここで書くべきことはありません。

戦車とか航空機とかが色々陳列してあるのがやはり男の子として楽しかったです。ミリな人ならたまらないかも。

そろそろ自由時間の1時間が経過。すでにソウル市内で、わざわざ明洞駅まで送って貰うに及ばないと判断したのでツアコンに「送迎不要です」と伝えて、もう少し1人でのんびり回ることになりました。



それから一通り館内を歩いたのち、休憩所で3000ウォンのコーヒーを飲む。さて、これからどうしようかな。

基本はノープラン。ここは三角地のそば、ソウルのど真ん中。

DMZのトンネルをくぐったり板門店に行けなかったのは残念だけど、まあ5千円の元は取ったかな。

充実の屋外展示

そういえば戦争博物館の屋外展示もなかなか充実しているらしい…と小耳に挟んだので、ひとつ出る前に寄って行こうと、別の出口から出て庭へ。

なるほど、これはよい。

広い敷地に屋内とは比較にならない位豊富なさまざまな機体やらなにやらの展示がここに。しかもどこにも触るなとか登るなとは書いてない。

たっぷり近寄って写真を撮ったりする。ミリオタでない自分でも男の子の心を刺激される小一時間。



江南で昼飯

戦争博物館を出る。ノープラン。とりあえず腹が減ったので、遅い昼食をどこで食べるべきかと考えて江南にリベンジすることにする。正月の真昼間とはいえ、風俗店のひとつも発見できないのは納得がいかない。地下鉄で江南へ。

風俗街はどちらだろうと思いつつ、いやそれより昼飯だと思いつつ、うろうろと歩く。そこそこ旨そうな現地の飯屋を発見して「ここぞ」と思ったら自販機でカードがはじかれてうまく買えなかったりして見送ったり。



結局は、空腹に耐えかねたので 15 時過ぎに「さぼてん」に入る。

基本、日本と同じ味。おいしい。ご飯のお代わりをするが、無料ではなく 1200 ウォン。別にいいけど。韓国料理ではないものの、満足して出る。総額 16700 ウォン。

店の周囲のたたずまいから、たぶん

この辺が江南の風俗街であるようにも思えるので、これで実績解除と自分を納得させる。呼び込みとかゼロだけど、まあ寒いし、おそらく日が暮れてから来ればそこそこ賑わっているのではないだろうか。今回はもう確認できないけど。

帰国モードに入る

昼食を終えると16時。フライトは今夜の22時40分で、まだ一か所くらい行くことはできるが、特に行きたい所もない。韓国のカジノは1年前に来た時にはイマイチ感があったので、わざわざ足を向けるには及ばない感じ。

ヒマを潰すのなら空港でという鉄則に従い、帰国モードに入ることにしましょう。

地下鉄に乗って、舍堂で乗り換えて明洞へ。明洞でももう特にやることはないけど、自分用の土産の菓子（わさびアーモンド）を一杯買っていくことにしましょう。

ホテルで荷物を受け取り、チェックアウト。リピーターは宿泊費18%引きとか書いてある。次にまた韓国に遊びに来たときにはまた利用するのもありかもな。

わさびアーモンドを買い足してスーツケースに詰める。



空港へ

17時過ぎにソウル駅に到着。ソウル駅の広さに今さら少し迷ったりもしつつも、エクスプレスの乗り場を発見してチケットを購入する。

18時10分、ソウル駅を出る。1時間後には空港。フライトまで3時間以上ある計算になるが、まあ早すぎるということはないな。

18時53分に、ターミナル1に到着。ピーチのカウンターに行くとカウンターは20時10分に空くとのこと。

1時間、時間を潰すことにしよう。

遅い昼飯をとってまだ3時間しかたっていないが、どうやら入りそうでもあるし、深夜に帰国する頃には空腹だ。夕食にすることにしましょう。



空港の夕食

空港めしの定番のバーガーキングは…ないな。

では何にするか…とそのまま空港を荷物を引いて、うろうろするが、20分ほど歩くと汗が出てのどが乾いてきたので、スムージーを頼んで一息入れる。おいちい。

さらに飯をどうするかを検討しつつうろうろ回ったすえに、韓国料理の店を発見。プルコギと、豚キムチチゲで15900ウォン。空港めしなら法外でもなさそうに見えるがどうか。



…これはかなり空港めしにしては安い。町中と遜色ないぞ。韓国の飯屋はちょっとした一品で8000-12000はして、ちょっといい具材が入ったら、いきなり20000オーバーになる感触なのでこれで15900はかなり好感触。

豚キムチはかなりからくて熱い。豆腐と豚肉だけ先に食べようかな。

小皿の類はあまり手をつけない。韓国料理でいつも気になるのは、大量の小皿を残している奴は、やっぱり知らん顔して再利用してるんだろうなあというあたり。

あるいは「そんなことないよ！一度客に出したヤツは全部破棄してるよ！」と明言されるのも、具材ロスが気になってしまう感じがする。

まあ個人的には箸をつけてない奴は再利用して貰っていいと思うんだけど、残す奴にツバを吐く無差別テロとかやる奴もいるのかなあ…とか考え始めてしまって悩むようなら、多分韓国料理は食べるべきではないのだろうとも思わないでもない。おいしかった。ごちそうさまでした。

これは2020年1月に書いたテキストなわけですが、さすがに今はCovid-19の感染源が飛沫感染であると解っているので、客の余り物は問答無用で破棄していると思います。たぶん。

搭乗

20 時 40 分に、ピーチのカウンターに戻った…が、
もしかしてまだ開いてないのか？

ともあれ列の最後尾に並ぶ。

21 時過ぎチェックイン終了。機内送りにした荷物の
チェックをここで 10 分待つのはいいが、ゲートイン
までは 1 時間かかるという驚愕情報。ま、10 分後に
出よう。フライトは 22 時 40 分だから、まだ慌てる
時間ではない。

そして 10 分後に出国ゲートに向かったら、なるほど
先頭が見えないくらいの列。トランプのせいかな。

しかし列はそこそこに動いており、その 10 分後には
セキュリティエリアに入り、さらにその 10 分後にはセキュリティを通過した。予想よりはだいぶ
マシだったな。



そのまま 107 ゲートに向かい、少し待ち 22 時 35
分に搭乗開始。どうやら、間もなく楽しかった韓国
旅行も終わりです。

その 10 分後には機内に着席し、ベルトを締め通信を
切りました。

ほどなく離陸。特に機内では書きたいことはありません。

2020 年 1 月 5 日（日） お家に帰るまでが旅行です

日付が代わって 0 時 40 分、羽田空港に到着。

なにごともなく入国手続きを終了し、1 時過ぎにようやく動き出したレーンで荷物を回収すると午前 1 時半。

すでに京成電鉄の終電は終わっているのに、5 時 26 分の始発までの 4 時間、羽田空港で寝ているくらいしかありません。どこが寝やすいだろうとしばらく空港内をうろうろします。横になれるベンチは確保できなかったものの、ベンチを確保したので深々と座って、バッグを足ではさんで仮眠します。ぐう。

5 時過ぎに動き始めることにし、京急ホームに移動。

無事に始発電車の座席を確保。あとは青砥駅で寝過ごさなければ我が家だ。ぐう。

6 時 24 分、青砥に到着。駅の近くの松屋で朝食。おいちい。

6 時 40 分にはタクシーを拾い、7 時前に我が家に到着。

お家に帰るまでが旅行であり、これで駆け足の韓国旅行は終了しました。

（完）

2020 年正月 韓国旅行記

発行：新小岩マジック <https://twitter.com/kondohi>

発行日：2021年12月30日

印刷所：日光企画

本書の文章や写真などの無断転載を禁じます

あとがき **格安海外旅行が消えた世界**

本書は2020年の1月の観光旅行を記したものです。

みなさまご存じのように2019年に発生した新型コロナウイルス（Covid-19）で世界は酷いことになり、日本は2020年の2月3日にダイヤモンド・プリンセス号の横浜港での大量感染が話題になるまで、ほぼ誰も何も気にしなかった状態であったものの3月29日に志村けんが亡くなって「えっ？」という感じで危機感があがりマスク不足も続いたものの、対岸の火事である感もありました。とはいえGWの頃にはもう「海外に渡航できない」感もあり最初の緊急事態宣言も発令されておりました（意味のない都庁のライトアップとか）。

さらに2020年の秋頃からは余裕をぶっこいていた日本でも被害が拡大し続け、特に2021年夏は1年延期した東京五輪を強行して本当に酷い第5波になったのですが、ワクチン接種が進んだためかこれも急速に沈静化しつつあります。

いまは復活の兆しも見えてきたのですが、1年くらい前は全世界的に「他国への観光旅行が不可能」になった結果、観光業界と航空会社が大打撃を受けて筆者が愛用していたエアアジア・ジャパンも倒産してしまいました。

ただコロナ根絶は無理にしてもワクチン接種は進み治療薬も出始めたことから、陰性証明書を取得すればUSAへの旅行も帰国後のホテル軟禁なしで行えるようになりつつあることから、筆者も11月にラスベガス旅行を決め、これはまだどうなるか分かりませんが、是非とも成功させたいと考えています。

2万円で海外往復ができた世界が戻ってくるか分かりませんし台湾にも香港にもまだ遊びに行けそうにない状況ですが、あの楽しい日々が再び戻ってくることを祈願して本書を終えたいと思います。



新小岩マジック

